



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 こころあたたかな子

つよく、しなやかに！

～行事がいっぱい！ さあ2学期の始まりだ～

猛暑日が続き、日本各地で局地的豪雨が発生するなど、例年以上に気候変動の影響を感じる夏休みでしたが、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。小津小学校は、転入生1名を迎え、全校児童379名で2学期をスタートしました。

さて、今月末より、滋賀県で44年ぶりに「国スポ・障スポ」が開催されます。1981年の「びわこ国体」の時、私は中学生でした。担任の先生がラグビーの選手として出場されるので全校で壮行会を行ったこと、聖火リレーに声援を送るために生徒総出で学校近くの橋の上に並んだことなどを鮮明に思い出します。今回の「国スポ・障スポ」では、守山市がサッカーやゴールボール等さまざまな競技の会場となっており、本校の子どもたちも観戦に出かけます。選手たちの奮闘を身近で感じられることが、とても楽しみです。

いうまでもなく、技術の向上には地道な努力が必要で、すぐに習得できるものではありません。どんなに優れた選手でも最初から強かったわけではなく、粘り強く取り組んだからこそ上達したのです。また試合には勝敗がつきもので、勝者がいれば敗者もいます。勝つことだけが素晴らしいのではなく、負けから得られるものもたくさんあります。フェアプレーの大切さや、アスリートを支える人々の思いなど、地元で観戦できる今だからこそ、人として大切なことをしっかりと子どもたちに伝えていきたいと思います。

そして、2学期には、運動会や音楽会、校外学習や修学旅行など、たくさんの学校行事があります。みんなで成し遂げる行事では大きな達成感を得ることができそうですが、その取り組みの中で、必ず「うまくいかない」ことが出てきます。また、思いのすれ違いや小さなめんどもたくさん起こります。しかし、このような「しんどさ」と向き合い、なんとか乗り越えていくという経験が、人間の成長に欠かせないということもまた事実です。

おづっこの「つ」ー強くしなやかな子ーの合言葉のとおり、互いに知恵を出し合いながら、強くしなやかに問題解決していくことができるよう、2学期も、教職員一同、子どもたちをサポートしていきます。保護者・地域の皆様の温かいご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(文責：植村)

玄関前 松の木の剪定 ありがとうございました



小津学区教育後援会の支援をうけ、8月末に松の剪定をしていただきました。すっきりした姿をぜひ見に来てください。